

いいトコPhoto



きれいだワン!

◀お花の中からこんにちは今年もきれいにモッコウバラが咲きました
●凜ムー (牛沼)



▲ハートのトマトを探せ!
スーパーで買い物中に、なんと真っ赤なハートのトマトを見付けました!
●ト・マ・トだいすき♪ (北有楽町)



▲イチゴがいっぱい♪
2歳になった娘を連れて初めてのイチゴ狩り。たくさんのイチゴを目の前に大興奮でした
●子ブタのママ (小手指町)

みんなのひろば

投稿大募集!

写真・絵手紙・切り絵・川柳・エッセイなど、皆さんの作品やお便りを募集しています。

●応募方法

欄外の留意事項をご覧の上①住所②氏名③年齢④ペンネーム⑤タイトル⑥ひとこと⑦広報紙の感想を記入し、メール・郵送 (写真は10MB以内/エッセイは300字程度)



▶✉hiroba@city.tokorozawa.lg.jp
▶〒359-8501広報課みんなのひろば

いいトコ作品集



▲庭のあじさい
色が変わっていく庭のあじさいを絵手紙で表現してみました
●ペンギン (上安松)



▲春はぼた餅 (牡丹餅)
春はぼた餅、秋はおはぎ。呼び名は違えど中身は同じ…風流だね
●仲敏夫 (山口)

読者アンケートでも大人気の季節を感じる作品や、見ていてホッコリするような写真がたくさん♪これからは、夏に向けた作品がオススメ!お待ちしております♪



別の一本 増田哲 (北秋津)
昭和25年ごろの話だ。急に雨が降り出したときは、電車で帰ってくる父のために、駅まで傘と長靴を持って迎えに出るのは私の役目だった。家から約1kmほどの駅までの道は、お店も街灯も少なく、暗い夜道を歩いて行ったものだ。
迎えに行く時には、必ず父の分とは別の一本を母に持たされた。当時は折りたたみ傘などはなく、番傘が主流で洋傘に移行するところで、小学生の私には大きな番傘を2本運ぶのはきつかった。母はなぜ、傘を余分に一本持たせたのか。それは、電車で降りた人が困っていたら貸してあげなさいという小さな心遣いだった。私はその時、小さな心遣いを学んだ。現代は、ビニール傘などが有り余る時代。街中でビニール傘が捨てら



れているのを見掛けると、当時を思い出す。今の子どもは思いやりの心を持つために、どんなことをしているのだろう。

誰でもエッセイ

次のテーマ ● 7月号「私の夢」
締め切り ● 6月10日(日)

日常おもしろ川柳

身近に起きたびっくり & おもしろを五・七・五で

時季ずれの 桜に待ってと 大慌て

▼今年の桜は早かった!
●幡井輝子 (山口)



ライオンズ レッドアローで 突っ走れ

▼プロ野球、パ・リーグ首位を激走中! 頑張れ!
●鈴木啓造 (若松町)